

# はじめに

J Rグループは、J R各社とグループ会社が相互に支え合い、利用者に対して安全・安定輸送や品質の高いサービスを提供し続けることで発展を遂げてきました。J Rの安全はグループ会社で働く仲間の皆さんに支えられていると言っても過言ではありません。しかし、J R各社での世代交代が着実に進み、出向者が大幅に減少する一方で、グループ会社においては、労働力不足に起因する採用競争の激化で、人材の獲得・確保が非常に厳しい状況となっています。

グループ会社がJ R各社とともに、安全・安定輸送や良質なサービスを利用者へ提供し続けていくためには、長期的な安定雇用を通じて、技術力やサービスレベルを確実に向上させていくことが重要です。そのためにも、企業の発展の源泉である労働者を「人財」として捉え、賃金はコストではなく「人への投資」であるとの認識のもと、すべてのJ R関係労働者が安心して意欲を持って業務に精励できる環境整備とモチベーションの維持・向上に資する労働条件の向上が欠かせません。

J R連合は、2014年度から「中期労働政策ビジョン（2014～2018）」を掲げて、目標賃金水準への到達とJ Rグループ全体での雇用の維持・確保、諸労働条件向上に取り組んでいます。昨年の2017春季生活闘争では、グループ92単組とJ R7単組が一丸となって闘う春季生活闘争を構築するべく取り組んできました。そして、「人材の確保と育成」を重点テーマに掲げ、加盟する各単組が精力的な取り組みを積み重ねた結果、すべての単組が何らかの形で春季生活闘争に取り組み、43単組でベースアップが実現しました。さらに、ベア回答がなかった単組でも数多くの成果を獲得したところですが、中期労働政策ビジョンで掲げた分科会別の目標賃金水準への到達にむけて、取り組みをさらに強化していかなければなりません。

そのような背景からJ R連合は、グループ会社における有為な人材の確保と定着できる環境整備が労使間の共通かつ喫緊の課題であると認識しています。そして、今後のグループ会社のさらなる成長と発展にむけた、雇用の維持・確保を含む「人材の確保と育成」に引き続き取り組む2018春季生活闘争を展開します。具体的には、J Rグループ労働者に相応しい労働条件の実現をめざす取り組みとして、「①賃金の維持・向上」、「②総合生活改善にむけた労働条件向上」、「③組織化を含めた非正規労働者の処遇改善」の3点を運動の柱に据えます。また、通年的な課題である「定期昇給制度の確立と適正運用」や「労働協約の締結」を実現するとともに、今国会での法案提出・審議が予定されている「働き方改革関連法案」の動向も見据えて、休日増を含む時短や適正な労働時間管理、労働条件向上に資するワークルールの確立等にも取り組みます。

本書は、グループ労組2018春季生活闘争方針を巡る論点や参考資料を掲載することで今後行われる労使交渉の充実・強化を通じた、成果の獲得を主眼に置いています。連合が作成した「2018春季生活闘争 中小労組元気派宣言」などの各種資料と併せて、ご活用いただければ幸いです。

2018年2月吉日  
J R 連 合  
J Rグループ労組連絡会